

2022年度秋季展

粹^{すい}を
尽^つくす

近
現
代
の
き
も
の

Tradition and Westanization of Modern Kimono

2022.10.5^(水) → 11.30^(水)

開館時間＝10:00-16:30 閉館日＝土曜・日曜・祝日

入館料＝無料 場所＝武庫川女子大学 学術研究交流館(IR館)5階ギャラリー

●展覧会に関連するイベントはHPでお知らせします

<https://www.mukogawa-u.ac.jp/~museum/>

武庫川女子大学附属総合ミュージアム

Mukogawa Women's University Museum

[アクセス] 阪神電車「鳴尾・武庫川女子大前」駅から徒歩5分 HPで新型コロナウイルス感染症対策および最新情報を必ずご確認ください。

粹^{すい}を尽くす

近現代のきもの

Tradition and Westanization of Modern Kimono

武庫川女子大学附属総合ミュージアムには、令和2年(2020)に国の登録有形民俗文化財に登録された「武庫川女子大学近代衣生活資料」(9,092点)があります。この近代衣生活資料は、今までも様々な視点から取り上げられてきましたが、それを通して、明治・大正・昭和戦前期の時代を集約した文化的・歴史的資料であるという見解に達しています。具体的には、製作の上での近代的な技術革新やヨーロッパを中心にした外来の意匠や造形的感覚、消費的着用者の増加や都市生活の広がりなどを反映したものであり、江戸時代以前とは社会が大きく変わった中で求められ、着用されてきた資料群です。

本展示は、こうした近代のきものが実現した様態や価値に注目し、寄贈資料「伊吹コレクション」を中心に展示します。同コレクションは、大正期から昭和前期の京都で呉服店や百貨店に誂^{あつら}えられた、選りすぐりのきものたちです。「粹^{すい}を尽くす」というテーマは、プロジェクトのメンバー(実行委員会)によって資料を観察し、様々な分析することによって到達した、一つの「見解」です。衣生活資料に見る、近代化の集約された姿をご覧いただければ幸いです。



①



②



③

表面 袷長着(振袖) 昭和戦前期

1. 袋帯 昭和戦前期 2. 名古屋帯 昭和期 3. モスリン裂 大正期 4. 単長着 昭和戦前期

5. 単長着襲(うち一点) 昭和戦前期 6. 単長着 昭和戦前期



④



⑤



⑥

武庫川女子大学附属総合ミュージアム

Mukogawa Women's University Museum

〒663-8184 兵庫県西宮市鳴尾町1-10-21 アクセス:阪神電車「鳴尾・武庫川女子大前」駅から徒歩5分

電話:(0798)45-3509 <https://www.mukogawa-u.ac.jp/~museum/>

HPで新型コロナウイルス感染症対策および最新情報を必ずご確認の上ご来館ください。

本展覧会開催にあたり、JSPS科研費20K12863の助成を受けた。

